



第16号

加須市社協だより

発行所
 社会福祉法人
 加須市
 社会福祉協議会
 加須市下三俣307番地
 TEL 0480-62-6451
 FAX 0480-62-6546
<http://www2.kazosyakyu.jp/>

親子ふれあい事業
 実施日：3月8日



夏の体験プログラム事業
 実施期間：7月～8月



福祉教育推進事業
 実施日：10月18日



ひとり暮らし高齢者交流事業
 実施日：1月10日



【主な内容】

- 平成25年度収支決算及び平成26年度収支予算 2～3
- 社協会員加入のお願い 4
- 福祉サービス利用援助事業の紹介 5
- 輝く市民（インタビュー記事） 6
- お知らせコーナー、寄付一覧、連絡先、編集後記 7～8

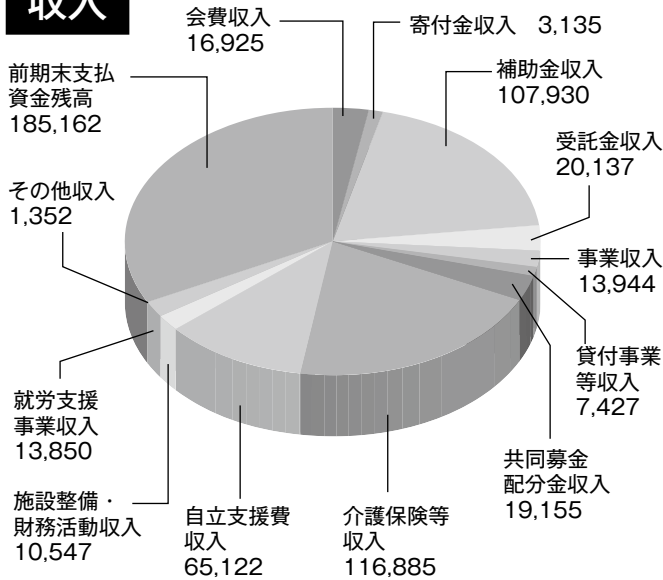
平成25年度
 加須市社協の1年

平成25年度 収支決算

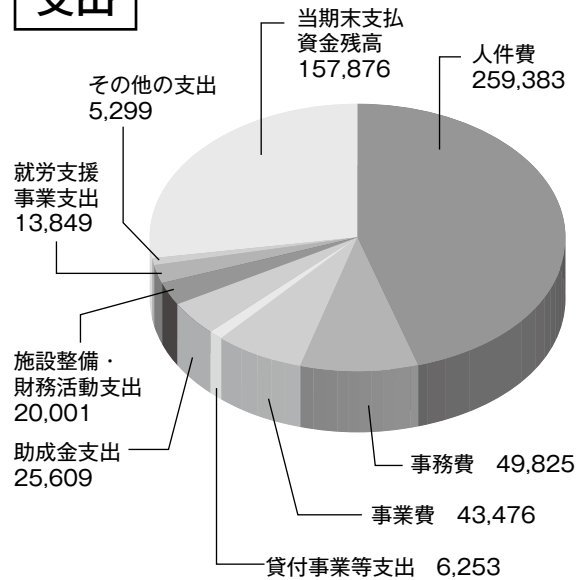
決算総額 581,571千円

【単位：千円】

収入



支出



〔社協の主な実施事業〕

高齢者福祉事業

- ひとり暮らし高齢者地域交流事業（会食サービス）
- ひとり暮らし高齢者地域訪問事業（配食サービス）
- 敬老会開催事業
- 金婚式お祝い贈呈事業
- ひとり暮らし高齢者見守り事業
- ひとり暮らし高齢者友愛通信事業
- いきいきふれあい事業
- 長寿お達者サロン事業
- 生き生きサークル事業

児童・母子支援事業

- 子育て支援ホームヘルプサービス事業
- ひとり親のつどい事業
- 親子ふれあい事業

障がい者福祉事業

- 知的障がい児親子遊び場事業
- 手話奉仕員養成講座開催事業
- 障がい児者親子のつどい事業
- 朗読サービスマス援助事業
- 障がい者交流事業
- 障がい福祉サービスマス経営事業

要援護世帯等援助事業

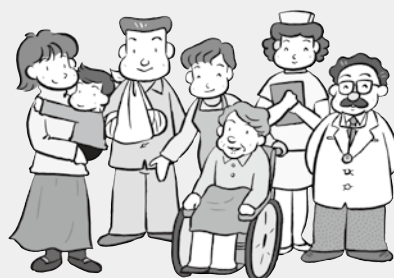
- 要援護世帯等援助事業

福祉サービス利用援助事業

- 福祉サービス利用援助事業

ボランティア事業

- ボランティア体験学習事業
- 地域ボランティア育成・支援事業
- 福祉教育推進事業
- 福祉協力校活動助成事業
- ボランティア活動支援事業

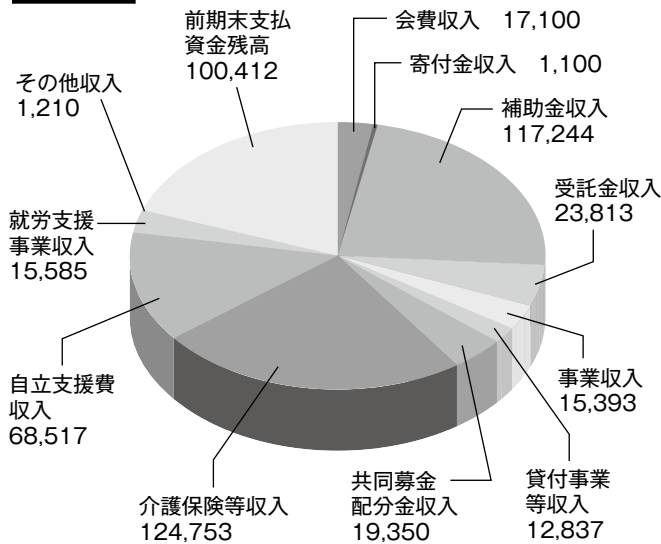


平成26年度 収支予算

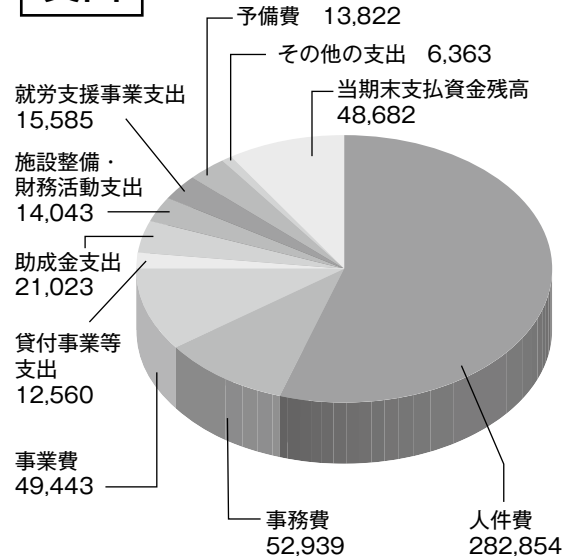
予算総額 517,314千円

【単位：千円】

収入



支出



地域福祉充実事業

- 会員増強事業
- 社会福祉推進大会開催事業
- 社協だより発行事業
- 支部社協活動支援事業
- 民生・児童委員活動連携事業
- 福祉資金・高額療養費つなぎ資金貸付事業
- 生活福祉資金等貸付支援事業
- 住所不定者等緊急援護事業
- 車いす同乗車両貸出事業
- 福祉用具貸出事業
- 福祉ふれあい広場事業
- 在宅介護者会食会・講習会事業

指定管理事業

- 加須市障害福祉サービス事業所あけぼの園管理運営事業
- 騎西老人福祉センター管理運営事業
- 北川辺介護サービスセンター管理運営事業
- 大利根総合福祉会館管理運営事業

介護保険事業

- 指定居宅介護支援事業所運営事業
- 指定居宅訪問介護事業所運営事業
- 指定通所介護事業所運営事業

その他

- 慰霊祭助成事業
- 福祉団体等協力事業
- 100の湯収益事業
- 日本赤十字社埼玉支部地区事業
- 埼玉県共同募金会加須市支会事務



会員加入のお願い

加須市社会福祉協議会（加須市社協）は、社会福祉法第109条に定められた民間の社会福祉団体です。

本会は、地域住民の皆さまや福祉関係者・団体等のご理解ご協力をいただき、地域福祉の充実に努めています。

誰もが自分らしく、安心して暮らせる「福祉のまち」の実現に向けて、皆さまからのご支援ご協力よろしくお願ひいたします。



【会員の種別と会費(年額)】

①一般会員	1口	500円	④団体会員	1口	5,000円
②賛助会員	1口	1,000円	⑤特別会員	1口	10,000円
③協力会員	1口	3,000円			

企業や事業所も加入することが可能です。加須市社協に対する会費及び寄付金は所得税額から一定金額が控除できます。控除額についての詳細は、所管の税務署へお問い合わせください。

【問合せ先】行田税務署 048-556-2121



市民



皆さまからの会費



加須市社協



誰もが安心して暮らせる福祉のまちへ

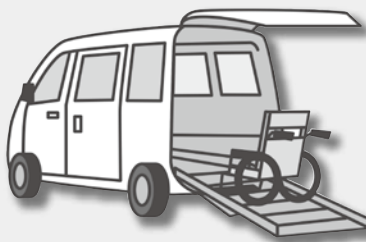
事業の計画



地域福祉事業



ボランティア
育成・支援事業



車イス同乗車両
貸出事業



ひとり暮らし高齢者
地域訪問事業

上の3つ以外にも会費を財源として多くの事業を実施しております。本紙の2~3ページをご覧ください。

福祉サービス利用援助事業 (あんしんサポートねっと)

判断能力の不十分な高齢者や知的障がい・精神障がい等のある方が、安心して生活が送れるように定期的に訪問し、福祉サービスの利用の援助や暮らしに必要なお金の出し入れ等のお手伝いをします。

こんなことで困っていませんか？

福祉サービスの利用料、公共料金を払い忘れてしまう

福祉サービスを利用したいけど、どうすればよいか分からない

日常のお金の管理に不安がある

市役所などで行う手続きなど、書類の書き方が分からない

利用までの流れ

相談を受け付けます

社会福祉協議会の職員が困りごとや心配ごとなどのお話をお聞きします。

訪問して話し合います

社会福祉協議会の職員がお宅に訪問し、困りごとの状況や生活状況などを詳しくお伺いします。

お手伝いの内容を考えます

社会福祉協議会の職員が、あなたと一緒にお手伝いする内容を考え、計画書をつくります。お手伝いの計画はいつでも変更できます。

お手伝いの内容を書面で約束します

あなたと契約を結びます。

お手伝いが始まります

定期的に訪問し、支援計画のとおりにお手伝いします。他に困りごとや心配ごとが出てきたら、社会福祉協議会の職員にご相談ください。必要に応じてお手伝いをします。

※相談は無料です。お気軽に各支所へご相談ください。

輝く市民

このコーナーでは、加須市内で輝いている方にスポットをあて、ご紹介していきます。

第1回目は、北川辺地域を拠点に活動しているボランティアグループ「たんぼぼグループ」代表の関口裕美子さんにお話を伺いました。



▲「地域のために、できることは何でもやります」と関口さん。

■「たんぼぼグループ」の設立はいつ頃

関口 平成14年11月です。数人で旧北川辺町社協が実施していた「生き生きデイサービス」（現「いきいきふれあい事業」）のお手伝いを始めたのがきっかけです。

■グループ名の由来、会員数は

関口 たんぼぼのように地面に根を広げ、明るくや

さしく逞しい活動を心掛けたらと思い「たんぼぼグループ」と名づけました。会員は現在5名です。

■主な活動内容は

関口 いきいきふれあい事業（8月1月を除く毎月、地域の11集会所で実施）のうち、ボランティアが必要な5会場で、机の設置、お茶入れ、弁当の配膳、片付けなどを行っています。集会所によっては、レクリエーションのお手伝いなども行っています。担当職員さんから「何かレクリエーションのアイデアありますか」とのお話をいただき、先日は指に輪ゴムを巻きつけて、それを移動させていくレクリエーションを提案し、実際に採用していただきました。

■活動していて、印象深かったこと、うれしかったことなどはありますか

関口 いきいきふれあい事業で古河市総合公園の桃の花を見学に行ったことです。感動を皆さんと共有でき、とても印象に残っています。たまには郊外での活動も新鮮で良いと思いました。またうれしかったことは、私が急用でボランティアができなかった時に、参加者が協力し合ってお茶入れや配膳をしてくれたことです。「関口さんがお休みだったからみんながやったよ。大丈夫だよ。」と後で声をかけていただき、とても助かりました。

■環境美化活動もされているとのことですが

関口 「花のボランティア活動」にも取り組んでいます。これは、道路の環境を美化しようと県が実施

しているロードサポート事業の一環で県道や市道の花壇に花を植え育てています。また、渡良瀬遊水地クリーン作戦（ゴミ拾い、清掃）に協力しているほか、ペットボトルキャップ・缶のプルタブを収集し、北川辺中学校へ寄付しています。これらを寄付すると、車椅子や途上国へのワクチンになるそうです。また、毎年社協北川辺支所にタオルを寄付しています。タオルは介護サービスセンターや様々な事業で役立てていただいているようです。

■今後の活動、夢は

関口 私は東京出身ですが、北川辺に住んで30年以上になります。私にとってはここが紛れもなくふるさとです。ひとつひとつの活動はささやかでも、地域のために役立つことなら、できることは何でもやりたいと思っています。たんぼぼグループの会員も皆同じ気持ちかと思っています。

■たんぼぼグループの会員のうち半数はお仕事をされているとのことですが

多忙な中、精力的にボランティアに取り組みられています。ありがとうございました。ありがとうございます。



▲たんぼぼグループのみなさん。いつもすてきな笑顔で活動に取り組まれています。

お知らせコーナー

彩の国ボランティア体験 プログラム事業が始まります

夏休みを中心に興味はあるけどなかなかきっかけがなかったという皆さん、ボランティア体験講座を行います。思い出っばいの夏にしてみませんか？



- 日 時：7月下旬～8月末
- 対 象：小学生～一般の方
- 問合せ先：各支所へ

※詳細は、同梱冊子をご覧ください。

また、申請書等は社協ホームページ（表紙のURL）からもダウンロードできます。

たくさんの方の参加をお待ちしています。

「このナツ、アツーい体験を」



除草ボランティアを募集!

3月末に植えたブルーベリーの苗も順調に生育しています。それに合わせて雑草も負けない勢いで増えてきました。

あけぼの園では、除草のお手伝いをしてくださるボランティアを下記のとおり募集しています。

- 日 時：7月22日(火)～8月29日(金)の内
平日の午前9時～午前11時
※8月11日(月)～15日(金)は除く
- 場 所：あけぼの園グラウンド
- 持ち物等：用具等は準備しておりますので、作業のできる服装で参加ください。
- 参加方法：参加予定日の3日前までに申込み
- 問合せ先：あけぼの園へ



ひとり親子・ 障がい児者親子のつどい

「中学生までのお子さんがあるひとり親家庭」及び「障がいをもつ方とその家族」を対象にバスハイクを実施します。秋の一日、楽しい思い出を家族一緒に作りませんか？

- 日 時：10月26日(日)
- 場 所：東京ディズニーシー
- 募集人数：ひとり親家庭：120名
障がい児者家庭：112名
- 参加費：大人(18歳以上) 4,000円
中人(高校・中学) 3,000円
小人(小学生以下) 2,000円
3才以下 無 料
- 申込期間：9月1日(月)～先着順
- 申込方法：各支所窓口へ、参加費を添えて申込みください。定員になり次第締切ります。
- 問合せ先：各支所へ

親子遊び場参加者募集

今回の「親子遊び場」は、初の3回連続講座で「ダンス」を行います。

みんなで思いっきり身体を動かして踊りましょう～♪

1回のみ参加もOKです!

- 日 時：7月26日(土)・8月9日(土)・
23日(土)
10時30分～12時(集合10時)
- 場 所：市民プラザかぞ 4階
フィットネスルーム
- 講 師：山本仁美先生
(加須市みずわスポーツクラブ)
- 対 象：市内在住の小学生の親子とその家族
- 人 数：40名
- 参加費：無料
- 持ち物：タオル・着替え・飲み物
- 申込期間：7月10日(木)～18日(金)
- 申込方法：各支所へお電話にて申込みください。
- 問合せ先：各支所へ

登録ヘルパーを募集しております

「あなたの笑顔を待っています」

- 時 給：1,050円
- 勤務時間：要相談
- 年 齢：60歳未満の方
- 資 格：①ホームヘルパー2級以上の有資格者、または介護職員初任者研修修了者 ②普通自動車運転免許を有している者
- 必要書類：①資格証明書の写し ②履歴書（様式不問）
- 問合せ先：加須本所 騎西支所 北川辺支所



資格を生かしてヘルパーの仕事をしてみませんか！

ご厚意ありがとうございました

社協一般寄付（平成26年2月16日～平成26年6月1日）

氏名・団体名（順不同・敬称略）	金額（円）及び数量
ポアールダンスクラブ	20,000
加須市商工会青年部	1,832
加須リサイクル市場	20,000
ユニー株式会社ピアゴ大桑店	135,924
狩野隆治	5,238
加須地区更生保護女性会	20,000
加須市騎西農家組合連合会	34,496
加須市商工会北川辺支所	120,000
宝月企画	17,453

氏名・団体名（順不同・敬称略）	金額（円）及び数量
第一生命労働組合熊谷営業職支部	10,954
渡良瀬カントリークラブ	73,500
加須ダンス連盟	30,000
コスモス南篠崎店	940
松永アサ子	18,100
宮崎章子	急須・湯呑
匿名 11件	533,872
匿名 1件	お米60kg
匿名 1件	毛布・タオル

社協連絡先一覧

各講座、イベントの申込み、問合せについては、土、日、祝日を除いて、午前8時30分から午後5時15分まで、右記のとおり本所、各支所の窓口で受付いたします。ご連絡をお待ちしております。

加須本所	TEL 0480-62-6451 FAX 0480-62-6546	〒347-0007 加須市下三俣307番地
騎西支所	TEL 0480-73-2341 FAX 0480-73-3516	〒347-0104 加須市根古屋633番地2
北川辺支所	TEL 0280-62-4000 FAX 0280-62-4766	〒349-1201 加須市柳生50番地1
大利根支所	TEL 0480-72-5069 FAX 0480-72-1716	〒349-1133 加須市琴寄903番地
あけぼの園	TEL 0480-63-2010 FAX 0480-63-0720	〒347-0011 加須市北小浜800番地1

編集後記

NHKドラマ「サイレント・プア」をご覧になっていた方も多いかと思います。このドラマは地域で奮闘するCSW（コミュニティソーシャルワーカー）の活動を描いた番組でした。「人は何度でも生き直せる」という信念のもと、生活上のいろいろな障害を抱えた人々に寄り添い、解決の糸口を探す姿は、同じ社協職員として考えさせられるものがありました。今回5ページで掲載しています「あんしんサポートねっと」も認知症や精神障がいのある方などを支えるための事業です。社協だよりでは、こうした通年で行っている事業もご紹介していけたらと思います。（M記）